

第191回
沖縄地方交通審議会
船員部会 議事録

令和6年11月21日（木）

沖縄総合事務局

第191回沖縄地方交通審議会船員部会

日 時 令和6年11月21日（木）13時30分
場 所 沖縄総合事務局1階「共用会議室A・B」

出席者：

公益委員 上原委員、赤嶺委員、豊川委員、大城委員
労働者委員 漢那委員、柴田委員、大城委員
使用者委員 桃原委員、亀谷委員、角委員

沖縄総合事務局 野原船舶船員課長、
宜名真海事振興・防災危機管理調整官、
宜保課長補佐、
金城係員

議事次第

○開 会

○議 事

1. 第190回船員部会の議事録承認について
2. 管内の雇用状況について
3. 意見交換

○閉 会

（配付資料）

- 資料1. 第190回船員部会の議事録（案）
資料2. 船員職業紹介実績等一覧表（令和6年10月分）
資料3. 宮古地区『体験学習』の実施について

上原部会長

定刻でございますので、第191回船員部会を始めさせていただきます。本日の委員の出席状況と配付資料の確認を事務局よりお願いします。

事務局（金城）

本日は、公益委員4名、労働者委員3名、使用者委員3名が出席されており、船員部会運営規則第9条の規定による定足数を満たし、本部会が有効に成立していることをご報告いたします。

続きまして配付資料の確認をさせていただきます。

（配付資料の確認）

上原部会長

それでは、まず初めに、前回、190回の議事録の承認を諮りたいと思いますが、お手元の議事録をご確認いただき、何かご質問はございますか。

原案のとおり承認してよろしいですか。

～ 各委員より「はい」の声 ～

上原部会長

異議がありませんので、承認されたものといたします。

続いて、議事の2「管内の雇用状況」について、事務局から説明をお願い致します。質問は最後に受け付けたいと思います。

事務局（宜保補佐）

令和6年10月分の管内雇用状況等の概要についてご報告いたします。

●求人状況について

新規求人数は7件でした。

新規求人における内訳としては、

旅客船に係る県内事業者1社より、船長1名、一機士1名、

押船に係る県内事業者1社より、一航士1名、一機士1名、

砂利運搬船に係る県内事業者2社より、一航士1名、一機士1名、機関士1名となっております。

前月に比べ1件増加、また、前年同月に比べ2件増加となっております。

月間有効求人数は32件でした。

前月に比べ1件減少、また、前年同月に比べ11件減少となっております。

月間有効求人数の内訳は、商船等 32 件となっております。
月末未済求人数は 32 件でした。

●求職状況について

新規求職数は 1 名でした。
前月に比べ同数、また、前年同月に比べて 5 名減少となっております。
新規求職数の内訳は、商船等 1 名となっております。

●新規求職者の退職理由又は求職理由別内訳について

10 月の新規求職者 1 名の退職理由は、海上勤務中の転職希望が 1 名となっております。
新規求職者が所属していた会社所在地は、管内が 1 名となっております。

●求職状況について

月間有効求職数は 8 名でした。
前月に比べ 4 名減少、また、前年同月に比べても 12 名減少となっております。
月間有効求職数の内訳は、商船等 7 名、漁船 1 名となっております。
月末未済求職数は 7 名でした。

●成立状況について

10 月の成立は 1 件でした。

●求人倍率について

10 月の月間有効求人倍率は、4.00 倍でした。
前月に比べ 1.25 ポイント増加、前年同月に比べ 1.85 ポイント増加となっております。

●失業等給付支給内訳について

基本手当受給者実人員は 2 名、支給延べ件数は 3 件です。
基本手当支給額は、商船等 1 件で 189,970 円、漁船 2 件で 330,680 円、合計 520,650 円でした。
総支給額は 520,650 円でした。

以上、令和 6 年 10 月分の管内雇用等状況の概要の説明を終わります。

上原部会長

ありがとうございます。ただいまの説明について、何かご質問などはございますか。

桃原委員

すみません、1点よろしいですか。求人、求職ともに件数は結構多いのですが、成立件数が少なく感じまして、これは年齢等の要因とかがあるのでしょうか。

事務局（金城）

年齢も成立件数の低さの要因の一つかと思われます。また、沖縄における求人で多数を占める船種がガット船（砂利運搬船）なのですが、求職者の方が希望する船種としては貨物船や旅客船などが多く、船種のミスマッチというところも成立件数の低さの要因かと考えられます。

桃原委員

ありがとうございます。

上原部会長

その他ご質問はございますか。特にないようですので、議事3の「意見交換」に移りたいと思います。何かございますか。

漢那委員

すみません、私事なのですが少し時間をお借りしてよろしいでしょうか。人事異動がありまして、12月1日付で全日本海運組合本部の水産部に異動となりました。短い間でしたけど、今までいろいろとお世話になりましたありがとうございます。また何かの機会で皆さんとお会いできればと思っておりますので何卒よろしくお願ひいたします。

上原部会長

漢那委員、長い間ありがとうございました。議事の進行にご協力いただきまして、スムーズに進行することができました。新しい任地におきましても、ますますのご活躍を祈念しております。今までどうもありがとうございました。

その他、何かご意見のある方はありますか。

前回の船員部会での議事のことで事務局あての宿題も特にないですね。柴田委員からは何かご意見などございますか。

柴田委員

この部会を通して逐一ジェットフォイルの話について経過も含めていろいろお聞きしておりますが、前回の会でも話題となった、石垣台湾航路の開設についても最近気になっているところです。先月の部会の時点では進展はないということで話は終わっているのですが、現時点で石垣台湾航路について何か動きがあるのであれば教えていただけますか。

事務局（宜名真調整官）

先月と一緒に、特段石垣市からは相談等は何もなく、報道で出ている情報しか我々も把握できていない状況です。

柴田委員

まだ動きがないということで承知しました。

漢那委員

石垣台湾航路が開設されたら何に影響してくるかというと、やはりカボタージュ規制に抵触するおそれが出てきますので、そこは確実に遵守していただきたいと思っております。海運業界や我々海員組合での共通認識としてカボタージュ規制というのは、世界的に各国が堅持しているものとされております。もし航路を開設する場合、安全保障の観点からもこのカボタージュ規制について遵守するような形でのご指導をしていただければと思いますのでよろしくお願ひします。

上原部会長

ありがとうございます。ほかにご意見はございますか。

よろしいですか。今日は最低賃金専門部会も控えておりますので、次に進めていきたいと思います。事務局から資料の説明をお願いいたします。

事務局（金城）

配付資料3をご覧ください。宮古地区『体験学習』の実施について説明させていただきます。

こちらは、進路検討段階にある中学生や小学高学年生を対象に座学や船内見学を実施し、船や船員に対して関心を持ってもらうこと、さらには、船員教育機関への進路志望者の増加につながるような取組を行うことを目的とした事業となります。この体験学習は本年7月に沖縄水産高校を会場に開催しておりましたが、今回、宮古地区でも実施

することとなり、11月11日に伊良部島中学校（結の橋学園）の中学生2年生を対象に体験学習を開催しました。当日のプログラムとしては、宮古総合実業高校のご協力のもと、船員の仕事について座学形式で講話をを行い、その後、平良港に移動し、実習船「海邦丸」の船内見学を行いました。そのときの様子について一部ですが写真を掲載しております。イベント当日は天気も良く、参加した生徒たちからは「体験学習を通して船員に興味を持てた」「船の仕事をやってみたくなつた」などと本事業が貴重な経験になったという感想を多数いただきました。また、参加者に対してアンケートを実施しましたが、船員になるための学校へ進学したいかという質問について、体験学習の開催後に実施した事後アンケートでは「水産系の学校へ進学したい」と回答した生徒が4名、「水産系学校への進学について考えたい」と回答した生徒が13名で、参加生徒全体30名弱に対して半分以上の生徒が、この体験学習を通して水産系学校への進学に前向きとの回答が得られました。また、参加した教師からのアンケートでも船員になることを勧めたい・勧めることを考慮したいと前向きな回答もいただきました。

地道な活動ですが、このような事業を通じて、船員の魅力などを発信し船員増加につながる取り組みを事務局として今後も行っていければと思います。

配付資料3の説明については以上でございます。

上原部会長

ありがとうございます。資料に掲載されているこの集合写真を見ると、多くの女子中学生も参加されているように見えるのですが、進学したいと回答した生徒のうち女子は何割かなどは分かりますか。

事務局（金城）

アンケートには氏名や性別までの項目は設けていなかったため性別による正確な割合までは把握できませんでしたが、最近では女性船員も活躍する機会が増えていることを説明したところ、女性でも船員になれることがわかり、船員に興味を持てたという感想もありました。

上原部会長

ただいまの体験学習の報告について、何かご質問等ございますか。

漢那委員

今回参加した学校が伊良部島中学校とあるのですけど、伊良部島に

は現在、中学校は1つしかないのでしょうか。

事務局（金城）

おっしゃりとおり伊良部島内の中学校は1校だけです。

漢那委員

以前は伊良部中学校のほか佐良浜中学校もあったのですがね。中学生も今では30名ほどしかいないということでだいぶ少なくなってしまったのだと思いまして。

柴田委員

私からもよろしいでしょうか。今回伊良部島中学校で開催されたということで、毎年宮古島地区でこのような体験学習を開催するとき、例えば来年の話でいうと、引き続き伊良部島中学校を対象にするのか、それとも、来年は宮古島本島の別の中学校で開催するのか、はたまた、回数を増やして、伊良部島中学校と別の中学校の両方で開催する方向性でいるのか、予算の規模もあるのでしょうかけど、今後の実施にあたりどのように考えているのか教えていただきたいです。

事務局（野原課長）

まず、昨年宮古地区での開催にあたり参加する生徒の公募に大変苦労したことから、今年は学校を絞って実施することとしました。対象となる中学校を検討しているなかで体験学習に強い関心を示してくださったのが伊良部島中学校でした。もともと漁業が盛んな地域であったことからも船員に関心を示す生徒が他地域よりも多かったようです。学校も全面的に協力していただき、スムーズに開催する運びとなりました。今回参加した生徒や教師の方に好評だったようなので、来年も開催できればと考えております。

もう一つ、宮古島市でも生徒が多い久松中学校も開催候補と考え、アプローチをしております。

来年度以降の開催方法等については、予算状況を勘案しつつ、より効果的に実施できるよう関係各所と調整して参りたいと思います。

柴田委員

ぜひお願いします。伊良部島中学校も残しながら、生徒が多いという久松中学校のほうにもしっかりアプローチしていただけたらと思います。来年は宮古島地区で2回なのか、2日間に分けて実施なのか状況次第でしうが可能であればぜひ継続してほしいなと思います。

事務局（野原課長）

今回船舶の見学でご協力いただいた実習船については体験学習当日の朝に平良港に入港し、その日の夕方には出港するというスケジュールでしたので、停泊中の短時間で見学ができるよう調整しました。

次回以降、実習船だけではなく、民間フェリーのご協力も頂ければ2日間に分けての船舶見学も可能かと考えております。

柴田委員

承知しました。脱線してしまうのですが、この伊良部島中学校（結の橋学園）とはどういう意味合いなのでしょうか。

事務局（金城）

もともと伊良部小中学校と佐良浜小中学校があったのですが、その4校が統合し小中一貫教育校として結の橋学園という名称の学校となりました。

柴田委員

小中一貫校になったのですね。

事務局（金城）

はい。中学校単体では「伊良部島中学校」という名称となり配布資料には参加した生徒を「中学2年生」という記載しておりますが、小中一貫の結の橋学園の立場としてはこの生徒たちは8年生という扱いになります。

柴田委員

なるほど。掲載写真の集合写真にも「伊良部島中学校」という横断幕もありますね

事務局（野原課長）

この横断幕は実習船の方で用意してくださったようです。このことは伊良部島中学校側も知らなかつたらしく、手厚い歓迎に参加した生徒も感激していたようです。また、船内の食堂や居住空間が綺麗だった、食事がおいしそうなどといった感想もありましたので、実際に船舶を見学して興味が湧いたという方も多くいたのではないかと思います。

上原部会長

ありがとうございます。そのほか、何かご意見がある方はいますか。

よろしいですか。

それでは、次回の開催日について、事務局から説明をお願いします。

事務局（金城）

12月の船員部会は、内航及び旅客の最低賃金専門部会をそれぞれ実施した後の開催となります。

12月19日（木）に5階海技試験室で15：30より開催いたします。なお、この後行われる最低賃金専門部会の審議結果によって、日程が変更になる場合もございますのでご了承ください。後日、改めて案内の文書をメールにて送付いたします。出席できない場合は、事前に事務局まで御連絡ください。また、今回の議事録案につきましても後日、メールで照会させていただきますので、よろしくお願ひいたします。

上原部会長

それでは、以上をもちまして本日の船員部会を終了します。